

指定管理者総括調書（令和元年度）

施設名	大牟田市動物園		
担当部署	産業経済部観光おもてなし課	電話番号	0944-41-2750

I 指定管理者の情報

指定管理者名及び代表者名	西日本メンテナンス株式会社 代表取締役 清水 進		
指定管理者の所在地	福岡県大牟田市山上町2番地2		
指定期間	平成28年	～	令和2年
			選定方法 公募
指定管理者種類	<input checked="" type="checkbox"/> 市内企業 <input type="checkbox"/> 市外企業 <input type="checkbox"/> NPO・ボランティア団体等 <input type="checkbox"/> コミュニティ組織等 <input type="checkbox"/> 財団法人・社団法人・社会福祉法人・医療法人・学校法人等 <input type="checkbox"/> その他		
業務の範囲	1. 動物園の運営に関すること (1) 園の運営に関する庶務 (2) 災害時の対応 (3) 入園者の誘致 (4) 広報・宣伝 (5) 入園者サービス 2. 動物の飼育管理に関すること 3. 動物園施設の維持管理に関すること 4. 大牟田市動物園サポーター事業の業務に関すること		

II 施設の情報

所在地	大牟田市昭和町163番地			施設の設置目的	動物に対する知識と愛護意識を深めるとともに、市民の憩いの場を提供するため。
設置年月	昭和16年10月	増改築年月	S50・53・54・55・57・58・60・62年、H3・4・9・10・19・23・27・29・30年		
施設の設置根拠	大牟田市動物園条例				
施設の概要	敷地面積	44,098	m ²	事務所、動物飼育舎、病院、売店、倉庫、便所、休憩所等 45ヶ所	
	延床面積	2,690	m ²		
実施事業の概要	休館日	毎月第2及び第4月曜日（その日が祝日の場合は翌日） 12月29日から翌年1月1日まで	開館時間	午前9時30分から午後5時まで（12月1日から2月末日までの期間は午後4時30分まで）	
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのふれあい ・体験を主体とした催事・イベント ・小動物のふれあい広場の常設開催 ・ふれあい時における自然保護、動物愛護、命の大切さ等の学習会の実施 ・市の要請による近隣自治体へのふれあい移動動物園への協力 			
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・動物福祉の啓発に係るイベント（ハズバンダリートレーニングガイド等） ・地域や地域団体との連携 ・ベビーカー貸し出し ・レインコート販売 			
料金	利用料金制度	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無			

III 施設の利用状況

施設利用状況等の推移	区分	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R元年度実績	R2年度実績
	開館日数	単位 日	334	335	335	337
施設の総利用者数等	単位 人	251,658	240,657	236,773	216,969	
個別事業における利用状況等の推移						
売り餌等		6,012,500	-	-	-	
自主事業収入(自販機・ベビーカー貸し出し等)(円)		2,874,290	2,617,859	2,600,712	2,323,636	
<利用者数>						
大人/(個人) 101,257人 (団体) 5,952人		121,492	116,518	115,371	107,209	
中人/(個人) 1,487人 (団体) 91人		1,264	1,277	1,412	1,578	
小人/(個人) 21,905人 (団体) 385人		19,278	17,513	20,148	22,290	
減免(半額、全額等)/31,054人		37,518	37,036	34,234	31,054	
無料/54,838人		72,106	68,313	65,608	54,838	
利用料金収入	施設の利用料金収入 単位 千円	47,617	45,508	45,323	43,047	

IV モニタリング結果
管理運営評価シートの結果

評価結果	255 / 320	<table border="1"> <tr> <td>I 施設の運営</td> <td>119点 / 150点</td> </tr> <tr> <td>II 施設の管理</td> <td>111点 / 140点</td> </tr> <tr> <td>III 継続性・安定性</td> <td>12点 / 15点</td> </tr> <tr> <td>IV その他</td> <td>13点 / 15点</td> </tr> </table>	I 施設の運営	119点 / 150点	II 施設の管理	111点 / 140点	III 継続性・安定性	12点 / 15点	IV その他	13点 / 15点
	I 施設の運営		119点 / 150点							
II 施設の管理	111点 / 140点									
III 継続性・安定性	12点 / 15点									
IV その他	13点 / 15点									
	(平均点:4.0点)									

モニタリング項目に関するコメント

	コメント
I 施設の運営	<ul style="list-style-type: none"> 法令等の遵守については、関係法令等も常備されており、職員にも周知徹底されている。 開園時間・休園日について、変更する場合には事前に市に承認を得て実施している。令和元年度は、大型連休期間と夏季に承認した。休園日については、毎月第2、第4月曜日と定めているが、台風や動物搬入などの理由により臨時休園となる場合がある。令和元年度は、台風接近及び工事により臨時休園を承認した。 職員配置および研修については、2～3人からなる班体制をとっており、急病などで体制に欠員が出る場合には、飼育員の勤務時間を調整し対応している。 研修は月に1度安全衛生会議を実施しており、職員間で情報の共有がなされている。他所で行われる研修にも積極的に参加している。 業務の改善面については、園に対する意見や苦情を市に報告し、速やかに対応している。 市の指定事業については、適切に実施している。提案事業についても、動物福祉の啓発に係るイベント等、特色を生かした事業を実施している。 動物園の利用促進としては、ホームページやSNSなどを使っての情報発信を積極的に行っている。報道発表も頻回に行っている。
II 施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いについては適正に行われている。 動物園サポーターの事務手続き等で個人情報を取り扱う際にも、オフラインのPCを使い、個人情報の漏洩がないよう努めている。 また、個人情報を含む書類やUSBについては、金庫保管としている。 緊急時の対策として、緊急連絡網がきちんと整備されており、職員間でも周知されている。避難誘導訓練については年2回実施している。 備品管理については、指定管理者の物品については、専用のシール貼付がなされ、市の所有物品と区別している。 備品台帳は作成されているが、令和元年度に新規購入したもので記載が終了していないものがあつたため指摘した。 施設の清掃、点検についても適正に実施されており良好である。 異常があつた場合には速やかに対応しており、施設に関する大きな苦情等はない。
III 継続性・安定性	<ul style="list-style-type: none"> 経営状況については、すべての項目が基準を満たしている。
IV その他	<ul style="list-style-type: none"> ズーフェス(市内事業者との動物にちなんだコラボ商品の販売や動物に関する各種イベント)を実施し、動物園への集客を高めている。 動物とのふれあいだけでなく、動物をとりまく環境等についての展示や講演会等も行っている。 動物の飼育については、飼育動物ごとに飼育日誌を作成し、それぞれの動物に応じた飼育方法を職員間で共有している。 また、動物によって給餌方法を工夫したり、飼育環境を改善するなど、動物福祉を重視した飼育方法を実現している。 動物が死亡した場合には、毎月の月例報告時に市へ報告している。

総 評

施設の運営については、おおむね適正に行われていた。
法令等の遵守・周知、開園時間・休園日の取り扱い、職員配置・研修についても問題なく行われている。施設の管理運営に係る要綱等について、動物を出し入れする際のマニュアルは事前の協議は行われていなかったが、後日提出を受けた。
企画事業については、動物とのふれあいだけでなく、動物をとりまく環境等についての展示や講演会等を実施している。動物福祉を伝える動物園として、ハズバンドリートレーニングや環境エンリッチメントの取り組みを継続して行っており、多くのメディアに取り上げられた。また、平成30年度に引き続き「ズーフェス」を開催し、市内事業者連携し、動物にちなんだ商品を販売した。
利用促進に関しては、ホームページやSNSを利用した情報発信と、各種ふれあいイベント等、多彩なイベントを実施した。動画配信についても積極的に行っている。
施設管理については、毎月、安全衛生会議を実施し、職員間で情報共有がなされており、危険が予測される箇所は改善を行い、来園者の安全を図っている。また、修繕等が必要な箇所についても、適正な施設管理がなされている。備品については、指定管理者所有の備品台帳の更新が終了していなかったため、記載を依頼した。
経営状況については、提出を受けた決算報告書の数値から健全であると判断できる。
植栽等の管理については、問題が発生してからの対応となる事例も見受けられたため、ハード面の維持管理について、より計画的に取り組んでいただきたい。
また、ソフト面については、現在実施されている動物福祉等の取り組み等をさらに充実させ、今後、一層の集客力の増加と動物園の魅力・来園者の満足度向上に努めていただきたい。